

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	生活介護事業コスモス	施設種別	生活介護 (旧体系：)
評価機関名	一般財団法人社会的認証開発推進機構		

令和 2 年 5 月 2 0 日

総 評

生活介護事業所コスモスは、松ヶ崎妙法を北側に仰ぎ、地下鉄松ヶ崎と北山駅の間地点にある北山ふれあいセンター内にて、知的及び身体に障害があり、社会参加や日常生活の充実を図るため、生活介護支援の必要な人を対象とする事業所として運営されています。同施設内には、運営主体である社会福祉法人京都総合福祉協会法人本部や発達や言葉の弱さや遅れがみられる就学前の子どもと家族を対象に、集団や個別での相談・療育を行う「児童発達支援 ポッポ」が併設されています。

「利用者の人としての尊厳を重んじ基本的人権を守る、地域に根差した信頼される福祉を構築する、時代を読みニーズを掘り起こして現状の改革に努める、共生社会の実現を目指す」などを事業所の理念として掲げ、日常生活上の支援を行うとともに、利用者の希望や障害状況に応じたプログラム活動を実施し、生活の質を高められるような日中活動を提供しています。

本事業所では、知的障害のある人のフロア（3階）と身体障害のある人のフロア（4階）に分けて、また、それぞれ利用者の個別支援計画に基づき、知的（地域交流を柱としたAグループ、自主製品の制作を中心に活動するBグループ、利用者に合わせた活動に取り組むCグループ）と障害（利用者に合わせたプログラムを提供するAグループ、構造化を取り入れた自閉症の利用者への取組みを中心に行うBグループ、畑作業を通じてひとつのことを成し遂げる喜びを大切にする畑グループ）のそれぞれの特性に配慮したグループごとの活動が展開されています。

事業所の中長期計画において、利用者が安定した生活基盤のもとに通所し充実した日常生活を過ごせるように、短期入所事業・共同生活援助事業の開始を長期ビジョンとして掲げ、中期目標には、数値の目標を設定した稼働率の向上による給付金の増収、長期ビジョンに対する職員の理解と運営に対する意欲の向上及び事業展開にむけた人材の確保と育成、利用者の家庭環境やニーズの把握などを明確にしています。中期計画を踏まえた単年度事業計画の策定を行うなど、高く評価できるものと考えています。また、強度行動障害のある利用者や医療行為のある利用者の増加に伴い、対応できる職員のスキルアップ及び増員にも注力されています。

人材の確保に関しては、「きょうと福祉人材育成認証制度」の上位認証の取得を目指し、その具体的な取組みとして、魅力発信委員会を設置し、就職フェアの出店や募集パンフレットの作成を行い発信するとともに、給与体系、休暇制度、研修補助制度、レクレーション活動制度などの見直しを行う他、ノー残業デーやOJTによる人材育成、計画的など研修の実施と受講の推奨が行われています。

支援度が高い利用者や支援内容の多岐化、広範囲にわたる利用者送迎や利用欠席など日々変わる調整の繁雑さなどの課題を認識し苦慮しながらも、日々の支援の向上に努められています。引き続き、下鴨の地において、障害のある利用者のQOLの向上にむけた支援が行われますことを期待しています。

<p>特に良かった点(※)</p>	<p>I-3-(1) 法人中長期計画及び平成31年年度に策定した事業所の中長期では、長期と中期に分けて、ビジョン・目標が設定されています。中期目標においては、稼働率向上にむけて数値的な目標も設定されています。また、中長期計画に基づいた単年度事業計画を作成し、生活介護事業・特定相談支援事業における基本方針や事業及び経営に関する重点方針、職員体制、情報発信と開示、実習生やボランティアの受入れ、地域との交流・連携などに関する計画が明確に示されており高く評価できます。</p> <p>III-2-(3) 障害のある利用者の記録については、事業所が定める情報共有ソフトを活用して、適切に記録・管理している状況がうかがえます。記録の書き方についても、個別職員で記録内容や書き方に差異がでないように、サービス管理責任者がすべての案件を確認のうえ、個別に指導を行い、また、記録内容から必要な事項については、フロア会議・運営会議・職員会議で共有する他、回覧の場合は確認日を記しできるだけ早く回覧できるように工夫するなど、事業所内での情報を共有する仕組みと工夫が多様に整備されている状況を聞き取ることができます。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>II-1-(1) 法令遵守への取組みについては、職員採用時のオリエンテーション及び新任研修の実施をはじめ、管理者による外部研修や勉強への積極的な参加を通じて、また、法人内の所属長会議での協議結果を踏まえて、職員にも周知し実践に取り組んでいる状況を聞き取ることができます。しかし、法人及び事業所ごとの運営状況に合わせて必要となる関連法令の精査及びリスト化などへの取組みが望まれます。ぜひ関連法令のリスト化の必要性を検討いただき、取組みを期待します。</p> <p>III-1-(1) 障害のある利用者のプライバシーなど権利擁護に配慮したサービスの提供のあり方について、虐待防止の観点からマニュアルを整備する中で職員としての姿勢や行動規範を明記し、内外の研修会に参加するなどの実践に生かす取組みが行われている状況を聞き取ることができます。また、排泄、更衣、入浴など、同性介助を前提としたサービスを提供するなど、利用者のプライバシーに配慮した生活・活動の場にふさわしいサービスの提供に取り組まれている状況を聞き取ることができますが、そのプライバシー保護の指針となる規程やマニュアルの整備状況が確認できません。利用者に対してもプライバシーの保護や権利擁護に関する取組みを説明し、不適切な事案が発生した場合に適切に対応するためにも規程などの整備が望まれます。</p> <p>III-1-(2) サービス利用の開始時には、契約内容の説明を行い、利用者自身でサインが可能な方には、時間をとり丁寧に説明を行い同意のうえで、重要事項説明書へのサインを得ているなどの状況を聞き取ることができます。しかし、サービス内容の変更時やサービスの変更及び移行時の継続性の配慮について、利用者にもわかりやすく工夫した説明の仕方や、適切な説明・運用のあり方をルール化するなどの取組みに、まだまだ不十分であるとの課題を事業所としても認識されています。</p> <p>意思決定が難しい利用者に対して、事業所としてどのように工夫し対応していくかについて、再度検討いただき、一定のルールに基づいて実施されますことを期待しています。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念、基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

[自由記述欄]

I-1-(1)① 法人の理念は、ホームページ、事業所内、事務所に掲示されていることを確認した。また、入職時の研修、階層別研修などにおいても理念の周知状況の聞き取りができ、職員会議でも確認が行われていることを聞き取った。また、所内見学の際、倫理規範の掲示が行われていることを確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 法人として事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	a

[自由記述欄]

I-2-(1)①法人として、京都市社会福祉法人経営者協議会、京都知的障害者福祉施設協議会に参加しており、そこでの情報は法人内で月1回開催される所属長会議でも共有されていること、所長は京都市生活介護等事業連絡協議会に入り、情報収集に努めていることを聞き取った。また、地域の潜在的な利用ニーズ把握は、近隣の支援学校とのつながりで、2か月に1回程度、要支援者の見学を受け入れていることが確認できたため、自己評価bをaとした。
I-2-(2)②稼働状況については、毎月事業所から法人に報告し、事業計画・報告は理事会でも説明されている。事業報告や事業計画は、全職員が見ることができるところを職員インタビューでも確認できた。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 法人として中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	a
		5	② 中・長期のビジョンを踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	a
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	a
		7	② 事業計画は、障害のある本人等に周知され、理解を促している。	b	b

[自由記述欄]

I-3-(1)①および②法人全体とは別に、事業所としての中・長期計画を「事業 中・長期計画」で確認した。中長期計画にもとづいて、所長と主任やサービス管理責任者と相談しながら単年度事業計画を作成している様子を聞き取った。
I-3-(2)①年度途中での評価・見直しは、運営会議(所長、サービス管理責任者、主任、各フロアリーダーで構成)や職員会議(月1回、全職員)などで実施されている。またグループホームづくりについて、利用者家族からのニーズにより調査を事業計画として追加した事例などを聞き取った。これらから通番4~6については、自己評価bをaとした。
I-3-(2)②事業計画等について家族会への説明を行う機会は設けているが、障害のある本人に対する説明は一部に限られている状況であり、今後の改善点として見受けられる。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	a

[自由記述欄]

I-4-(1)①利用者家族を対象としたアンケートの実施、実践報告会の開催などで各フロアのサービスの振り返りや意見交換が行われているが、定期的な受診にむけた取組みが事後の課題となる。
I-4-(1)②京都市の「事業自己管理点検表」での点検には年に1回取り組んでいる。利用者アンケートの実施および分析により、ショートステイへの要望が強いことがわかり、中長期計画への反映や実現にむけて今年度から取り組みを開始する予定であることを聞き取った。この結果は運営会議、職員会議でも共有されており、具体的な取組みとして動き出している様子を聞き取ることができたため、自己評価bをaとした。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組にリーダーシップを発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組にリーダーシップを発揮している。	b	a

[自由記述欄]
 II-1-(1)①事業計画書のなかに「組織図」の記載がある。また別途「業務分掌表」があり、これを用いて自らの役割および各職員の役割などを説明している。業務分掌表については、例年3月の職員会議で配布共有され、引継ぎにも利用されていることを聞き取ったため自己評価bをaとした。
 II-1-(1)②法令順守について、入職時に「新任職員オリエンテーションマニュアル集」にもとづいた研修が行われ、また管理者が外部研修への参加をもとに事業所内で共有している。虐待防止など対人援助業務に直結する法令の把握は行っているが、その他の法令も含めたリストの作成は確認できなかった。
 II-1-(2)①事業計画にもとづき、各フロアと主任の意見を聞いて中間および年度末評価を行っている。事業所内で、ヒヤリハット分析結果を職員と共有し、関連する研修への参加を促すなどの取組状況が聞き取れた。
 II-1-(2)②事業運営について話し合う運営会議には管理者も参加し、必要に応じて職員会議、フロア会議での検討を促すなど働きかけている。管理者として積極的に有給休暇の取得状況把握及び共有も含め、実効性の向上に向けた取組が聞き取れた。このため自己評価bをaとした。

ukaga	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	a
	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a	

[自由記述欄]
 II-2-(1)①人材育成においては、法人としての「キャリアの仕組み」が定められており、新人から課長まで基準、求められる能力、研修などが記入されている。
 II-2-(1)②年に2回は、所長による職員面談が行われている。面談用の基礎シートとして、「年間業務目標シート」や「職員ヒヤリングシート」があり、自己評価のほか、ビジョンや異動の希望など職員が将来を描くための工夫が行われていることを聞き取れたので、自己評価bをaとした。
 II-2-(2)①法人として実施した職員アンケートの結果を、京都府全体の傾向と比較した資料が作成されており、職員の意向把握に努めようとする工夫がうかがえる。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・養成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b	

[自由記述欄]
 II-2-(3)倫理規定には「期待する職員像」が描かれており、「業務目標シート」で職員一人ひとりの管理を行っている。これにより自己評価bをaとした。
 II-2-(3)②および③ユニットごとに「業務習得状況表」があり、主任、リーダーとの面談を行いながら、育成状況の確認を行っている。「階層別研修の全体像」や研修の年間計画表などが作成されている。
 II-2-(4)事業所では、社会福祉士、保育士の実習受け入れが行われており、「実習生受け入れマニュアル」を確認できたが、実習担当者への研修状況については確認出来なかった。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b

[自由記述欄]

Ⅱ-3-(1)①福祉情報サイト「WAM-NET」において、法人の各種情報が公開されていることを確認した。法人ホームページ内の当該事業所ページもあり、理念・方針などの記載もある。また、ホームページよびフロアには苦情・相談の体制・内容・改善状況の公表されていることが確認できたため自己評価bをaとした。

Ⅱ-3-(1)②「職員倫理行動指針」は平成25年に改正されており、平成26年から各職員に新たな規程集が配布されている。「職員倫理行動指針」には、定款や経理規程などが含まれている。職務分掌は職員会議でも伝えられている。また、利用者とその家族にむけた広報誌「コスモス瓦版」(年2回発行)やブログでも事業所の様子を発信している。当該事業についての外部の専門家のチェックが実施されているかどうかを確認できなかったため自己評価aをbとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 障害のある本人と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a	a	
	27	② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	a	

[自由記述欄]

Ⅱ-4-(1)①事業計画書のなかで地域とのかかわり方についての記載があることを確認した。ペットボトルキャップの回収に地域事業所を訪問したり、近隣小学校からの見学および交流の受け入れを行っていることを聞き取った。
 Ⅱ-4-(1)②「ボランティアの受け入れについて」とする文書があり、職員の対応マニュアルとともにボランティアに渡す説明用資料も確認できた。
 Ⅱ-4-(2) (3) 例年開催している地域住民や利用者及びその家族等が参加できる「ふれあいセンターまつり」においては相談会を実施しており、多くの利用があるや相談会を実施し、多くの利用がある。また「防災フェス」では、防災セミナーや体験会なども実施し、地域にチラシを配布して参加を得ている。特に防災については、浸水被害が予想される地域でもあり、地域の福祉避難拠点としてのPRも兼ねて実施している状況を聞き取ることができる。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 障害のある本人を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 障害のある本人を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 障害のある本人のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b	b
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり障害のある本人(家族・成年後見人等含む)にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	b

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(1) ①理念、倫理行動指針について倫理要項が定められており、研修がなされている。事業所内での職員アンケートを実施していることを「虐待・権利擁護に関するチェックリスト、職員セルフチェックリスト集計表」にて確認した。
 Ⅲ-1-(1) ② 事業所内アンケートの実施は確認できたが、障がいのある本人のプライバシー保護について、規程、マニュアル等がないため、不適切事案発生時における対応など、プライバシー保護マニュアルとしての整備が望まれる。
 Ⅲ-1-(2) ①事業所パンフレット及びホームページにて福祉サービスの説明等がなされていることを確認した。2か月に1回見学日を設けており、家族、施設関係者、保護者などの見学(30名)や1日体験からの入所事例等をリストにて確認した。
 Ⅲ-1-(2) ②利用開始時の説明、同意を得る際に、本人、家族等がわかりやすいよう資料、説明、対応がなされているが、意思決定が困難な本人への配慮についてより具体的な取組み状況を聞き取ることができなかった。
 Ⅲ-1-(2) ③福祉サービスの内容変更において、計画変更、担当者、関係者等の情報提供書面はあるが、手順書が作成されていなかったため、引継ぎ文書未確認として、自己評価aをbとした。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 本人本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(3) 障害のある本人のニーズの充足に努めている。	33	① 障害のある本人のニーズの充足に向けた取組及び相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	a
		Ⅲ-1-(4) 障害のある本人が意見等を述べやすい体制が確保されている。	34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	35		② 障害のある本人からの相談や意見に対して把握する仕組みがあり、組織的かつ迅速に対応している。	b	b
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における障害のある本人の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a

		38	③	災害時における障害のある本人の安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	a
[自由記述欄]						
<p>Ⅲ-1- (3) ①ニーズ調査として満足度調査が実施されていることを「令和元年度 ご利用者、ご家族満足度調査結果 R.1.12/3~12/16」にて確認した。個別の相談面接や聴取については「送迎時連絡・引継ぎ表」「個人票(ノート)」にて把握と記録化がなされ、3階に「意見箱」が設置されており、「新任職員オリエンテーションマニュアル集」にて意見箱マニュアルで対応が周知されている。「令和元年度 後期評価会議 評価議事(12/2)」にて、サービス管理責任者による評価会議の実施記載があるなど継続的なニーズ充足に向けた取り組みがなされている。</p> <p>Ⅲ-1- (4) ①苦情等の対応については、受付担当、責任者を定め明示されており「苦情受付手順」にて対応がなされている。苦情内容等の対応記録は「一般日誌検索結果(日付順)」「プリントアウト資料」にてデータ共有ソフトによる管理がなされていることを確認した。対応後、解決した内容は公表されており、アンケート内容からの対処、施設設備に対する要望についても対応予定であることをヒアリングにて確認できたため、自己評価bをaとした。</p> <p>Ⅲ-1- (4) ②相談内容は、運営会議で担当者、主任、サービス管理責任者、看護師等で共有し検討、対応をご家族等にフィードバックすることがケース記録にも記載されており、「苦情受付手順」はあるが、苦情・相談受付手順が示されたマニュアルなどの作成はなされていない。</p> <p>Ⅲ-1- (5) ①ヒヤリハットの件数チェックを行い、件数を上げるよう啓発しており、リスク管理委員会、職員会議、フロア会議などで検証、防止策を検討している。早急な事例は朝礼にて周知し、再発防止に努めている事を「誤嚥時対応マニュアル」及びヒアリングで確認した。</p> <p>Ⅲ-1- (5) ②「医療関係マニュアル」「感染症について(感染予防策)」等のマニュアルが作成されており、看護師が関与し改定のH.31.4付改定版にて検証、更新がなされていることを確認した。</p> <p>Ⅲ-1- (5) ③「被災(地震、台風、水害)に備えた体制の構築」マニュアルが作成されており、災害時対応が周知されていることが確認でき、4階に災害用備蓄として物資保管がなされていることなどを聞き取ったため、自己評価bをaとした。</p>						

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの一定の水準を確保するための実施方法が確立している。	39	① 提供する福祉サービスについて一定の水準を確保するための実施方法が文書化され福祉サービスが提供されるとともに見直しをする仕組みが確立している。	a	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	40	① アセスメントに基づく個別支援計画等を適切に策定している。	a	a
		41	② 定期的に個別支援計画に基づく評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	42	① 障害のある本人に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
43		② 障害のある本人に関する記録の管理体制が確立している。	a	a	

[自由記述欄]						
<p>Ⅲ-2- (1) ①サービス内容の水準維持や提供、実施方法については「利用契約書」にて適切に文書化及び業務マニュアル等が作成されていることが確認できたが、プライバシーの保護、権利擁護に関する対応姿勢の記載がなされていないため自己評価aをbとした。</p> <p>Ⅲ-2- (2) ①評価会議にて、個別支援計画やアセスメントに反映させるべき内容などが協議されており、関係職員で取り組まれている。アセスメント表として、「2019年前期支援サービス計画書(ヒナ型)」にて確認した。</p> <p>Ⅲ-2- (2) ②サービス管理責任者主導にて、日常支援内容に関するアセスメント、計画、評価というPDCAサイクルを回しており、職員に周知、実施している事をアセスメント表、個別支援計画表にて確認した。</p> <p>Ⅲ-2- (3) ①サービス実施記録の書き方などについて、マニュアル集の「ケース記録の書き方について」をもとに、サービス管理責任者が職員に対して研修を実施した上で、個別指導も行っていることを記載と聞き取りにて確認した。本人の個別状況は、「福祉の森」ソフトにて共有されている。</p> <p>Ⅲ-2- (3) ②福祉サービス記録の管理体制においては、「情報管理規定」並びに「特定個人情報規程」の物理的安全管理措置にある「電子媒体等を持ち出す場合の漏洩等の防止」にて確認した。</p>						

A 障害のある本人を尊重した日常生活支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 支援の基本理念	A-1-(1) 自立支援	44	① 障害のある本人の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a	a
	A-1-(2) 権利擁護	45	① 障害のある本人の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	b	a
	A-1-(3) ノーマライゼーションの推進	46	① 誰もが当たり前暮らせる社会の実現に向けた取組を行っている。	b	a

[自由記述欄]						
<p>A-1- (1) ①本人の自己決定を尊重し、利用者の一部はグループ会議で活動内容や外出先を決定している。集団での取り組みが難しい場合には、別の活動を提示して、できることを職員、ボランティアと個別対応するなど、個々のニーズを尊重し、柔軟に支援している事を聞き取った。</p> <p>A-1- (2) ①権利侵害の防止について、発生時の対応、再発防止策等が「フロア会議」にて、検討されており、検討、実施のサイクルや取り組みが聞き取りで確認できたため自己評価bをaとした。</p> <p>A-1- (2) ①職員に対しては、ノーマライゼーションの推進を方針として明示されており、研修も実施している。方針に基づいた推進の取り組みがなされていること聞き取ることができたため、自己評価bをaとした。</p>						

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価

評価結果対比シート(障害)

A-2 生活支援	A-2-(1) 意思の尊重とコミュニケーション	47	①	障害のある本人(子どもを含む)の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a	a
		48	②	障害のある本人の意思を尊重する支援としての相談等適切に行っている。	a	a
		49	③	障害のある本人の障害の状況に応じた専門的かつ多角的な視点から支援を行っている。	a	a
	A-2-(2) 日常生活支援及び日中活動支援	50	①	個別支援計画に基づく日常生活支援及び日中活動の支援を行っている。	a	a
	A-2-(3) 生活環境	51	①	障害のある本人の快適性と安心・安全に配慮した環境が確保されている。	a	a

[自由記述欄]

A-2-(1) ① 本人の意思が尊重できるよう、コミュニケーション手段として、写真カード、サイン表示、マカトンなど視覚的な手段を用いて意思疎通を図っており、様々な工夫を工夫している。
A-2-(1) ② 個々の相談や質問に対し、サービス管理責任者、看護師、主任など関係者との情報共有がなされており、課題についての総合的共有が実施されていることを聞き取った。
A-2-(1) ③ 職員への研修や専門職からのアセスメント講座、コンサルテーション依頼などによる多角的視点の育成、ケースカンファレンスの実施など、事業所として取り組んでいる事を職員ヒアリング等で聞き取った。
A-2-(2) ① 本人のニーズや心身の状況に応じた支援となるよう、日中活動はプログラム会議などで検討されており、外部の施設見学にて情報収集に努め、参考とするなど、継続的な取組みがなされていることを確認した。
A-2-(3) ① ニーズや体調に応じて対処できるよう、ベッドやマットの配置の工夫、個別空間、パニック時等の休憩スペースなど利用者の生活環境について具体的に配慮されていることを施設見学時に確認した。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	52	① 障害のある本人の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	—	—
	A-2-(5) 社会生活を営むための支援	53	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した社会生活を営む力をつけるための支援を行っている。	a	a
	A-2-(6) 健康管理・医療的な支援	54	① 障害のある本人の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a	a
		55	② 医療的な支援について適切に提供(連携)する仕組みがある。	a	a

[自由記述欄]

A-2-(4) ①は非該当。
A-2-(5) ① 利用者の作品など、芸術祭への参加応募、スポーツセンターのプール利用によるウォーキング、コンサートホールへの外出など社会への関わりを持つ行事を積極的に取り入れている事を聞き取った。日帰り旅行については、2カ年計画にて利用者の意向を含めて計画を策定しており、2年に1回希望の行先等をアンケートにて確認するなど、細やかな支援を行っている事を確認した。
A-2-(6) ① 緊急時、体調不良、発作等の対応マニュアルをマニュアル集にて確認した。排泄、入浴支援など個人記録の「排泄チェック表」「入浴サービス提供実績」「入浴サービス提供票」で確認した。
A-2-(6) ② 関係者によるカンファレンスが実施されており、支援状況、方法などの検討がなされている事を支援確認書にて確認した。市販薬の提供はしない方針で服薬や注入食、水分補給などを看護師がチェックしている。かかりつけ医として、協力関係機関があることを聞き取った。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 生活支援	A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	56	① 障害のある本人の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a	a
	A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	57	① 障害のある本人の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a	a
	A-2-(9) はたらくことや活動・生活する力への支援	58	① 障害のある本人の活動・生活する力や可能性を尊重した支援を行っている。	a	a
		59	② 障害のある本人に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	—	—

[自由記述欄]

A-2-(7) ① 支援会議にて本人の希望や意向を把握し、調整している。地域生活支援として見学の同行や施設訪問など家族にも寄り添った取組みの状況をヒアリングにて確認した。
A-2-(8) ① 生活状況などを個別面談、電話連絡、連絡ノートなどを使って、ルール化した上で日々確認している。家族会、家族懇談会などの開催についても聞き取りにて確認した。
A-2-(9) ① グループ会議のできる利用者は、相談して活動するよう支援している。事業所以外の方々との交流や利用者の得意や特性を活かせる事務作業を依頼するなど、地域の関わりや事業所全体で取り組んでいることを聞き取った。
A-2-(9) ②は非該当。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-3 就労支援	A-3-(1) 就労支援	60	① 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	—	—

[自由記述欄]

A-3-(1) ①は非該当。